

平成 29 年度 産業建設委員会 管外視察（案）

- 1 日程 平成 29 年 7 月 11 日（火）～12 日（水）
※全行程市のマイクロバスによる移動

- 2 集合 午前 7 時 市役所修理工場前（予定）

3 視察目的

当委員会の所管事務のうち、主に産業振興の視点から、農業の 6 次産業化や伝統工芸を生かした観光への取組み、多様な主体による新たな産業の創造と、文化交流による賑わいの創出と地域の活性化に向けた取組みなどの先進的な実践事例を視察し、見識を深めるとともに、今後の市政の方向性を探る。

4 参加者

議員 7 人、理事者側職員 2 人、事務局 1 人 計 10 人(予定)

| 職 名 | 氏 名 | 職 名 | 氏 名 |
|---------|-------|----------|-------|
| 産業建設委員長 | 湯澤 啓次 | 産業建設副委員長 | 熊谷 泰人 |
| 産業建設委員 | 岡田 倫英 | 産業建設委員 | 竹村 圭史 |
| 産業建設委員 | 福澤 克憲 | 産業建設委員 | 村松まり子 |
| 産業建設委員 | 原 和世 | | |
| 産業経済部長 | 遠山 昌和 | 建設部長 | 小平 亨 |
| 議会事務局担当 | 筒井 雄二 | | |

5 視察先及び視察項目 ※時間はいずれも予定

- (1) 石川県 小松市〔11 日(火) 13:30～15:30〕

ア 視察項目 こまつ・アグリウェイプロジェクトの取組みについて

イ 事業概要等

平成 25 年 7 月、コマツ、J A 小松市、小松市の三者は、6 次産業化の促進や農業技術と農業人材の育成などのテーマを掲げた連携協定を締結。

世界的な建設機械メーカーであるコマツの持つ「ものづくり」のノウハウを農業に活用することで、農作物の効率化など新しい農業の形となるような先進的な取組みを進めている。プロジェクトでは、農業の生産性の向上、雇用創出による地域経済の活性化、地域人材の活用、新商品の開発等の取組みを通じて市の農業の活性化を図ることで、日本の農業を元気にすることを目指している。

ウ 視察の視点

- ・「環境王国こまつ」の概要について
- ・「こまつ・アグリウェイプロジェクト」設立の経過、体制について
- ・具体的な取組みについて（事業の進捗、成果と課題等）
- ・今後の事業展開について

(2) 石川県 金沢市〔12日(水) 9:30～11:00〕

ア 視察項目：金沢クラフト・ツーリズムの取組みについて ほか

イ 事業概要

金沢は、加賀藩の政治・経済・文化の拠点として発展し、代々の藩主は、豊富な資金力を活用し、京都や江戸から数多くの名工を招き卓越した技術のもと、質の高い美術工芸品を創作してきた。江戸時代から現代へと受け継がれた歴史的なまちなみの景観の中には伝統芸能や多彩な食文化と重なり合って文化的香りの高い独自の都市が形成されている。

2009年6月にはユネスコが創設した「創造都市ネットワーク」にクラフト分野で登録され、伝統的な技術と新しい発想を駆使した「ものづくり」に一層、力を入れて取り組んでいる。

「金沢クラフト・ツーリズム」とは、ものづくり文化が発達した城下町金沢において金沢ならではの伝統工芸や文化に触れる旅のことを指している。

ウ 視察の視点

- ・市の観光の現状について（北陸新幹線開通後の現状等）
- ・金沢クラフト・ツーリズムの体制
- ・受入れの状況と課題等について
- ・伝統産業の支援について

(3) 富山県 南砺市〔12日(水) 13:30～15:30〕

ア 視察項目 クリエイタープラザ桜クリエの取組みについて

イ 事業概要等

クリエイタープラザ桜クリエは、クリエイティブな企業やクリエイターが集い、市の特色ある伝統工芸や地元企業と連携協力することで新たな産業を創造し、文化交流による賑わいの創出と地域の活性化をとおして南砺の魅力を広く全国に創造発信するシンボル拠点として整備された。8室のオフィスと18席のコワーキングスペース、スタジオ、展示室、ホールにショップやカフェなどを備えた「ちょっととんがった創造力」をシゲキする施設。

「一流の田舎を目指す南砺市の自然豊かなこの桜ヶ池の地に発信力の高いクリエイターたちが集い、新たな文化を創造し発信するシンボリックな拠点となるこの施設を大いに盛り上げていきたい」

※竣工式での田中南砺市長の挨拶から

ウ 視察の視点

- ・設置、建設の経過について
- ・運営体制と状況について
- ・これまでの成果と課題について
- ・施設現地視察